

# 三翠化学

(題字は福川先生)

第3号 発行  
昭和50年10月25日  
三翠化学 15部内  
市上浜町農学 59345  
重芸学 59345  
三津三農 替名古屋<0592> 1211  
電話

## 昭和五十年定期総会

### 深海京大教授の特別講演

昭和五十年五月二十五日(日)午後一時より津新町駅近くの洞津会館に約七十名が参集して、総会に続いて講演会および懇親会が行なわれた。

総会は、まず、今井滋氏(大九)の司会により始まり、倉田三郎氏(専一)を議長として議事が進められた。昭和四十九年度の事業報告(嶋田協氏、専三)と会計報告(古市幸生氏、大十三)が承認され、ついで、本年は二年目の役員改選期に当たるため、役員選出を行ない、会長に嶋田氏、副会長に若林氏と辻村氏を再選した。さらに幹事および評議員などを選出した。本年度の事業計画案(載本義雄氏、大四)および予算案(田口寛氏、大十七)を承認した。新役員を代表して、嶋田会長が今後の方針

### 会長挨拶

本日は、ご多忙中の所、誠に長瀬先生の挨拶、声のたつ奈良先生の乾盃などで始まり、田川三重農知事も挨拶にいらされ賑やかにお互いの旧交を暖め合った。最後に松嶋先生の万歳三唱で懇親会を締めくくり、第三回総会を終わらせた。

どうか、慎重にご審議いただき、活発なご意見をいただきますよう、特に希望致します。

終りになりましたが、本総会の開催につき、種々ご出席いただき、ご尽力をいただきました幹事の方々には厚くお礼申し上げます。

### 新役員挨拶

新役員を代表致しまして挨拶申し上げます。本日ご出席いただき、誠にありがとうございます。昭和五十年・五十一年度の役員等と致しまして、理事十名、会計監事二名、幹事五名および評議員二十六名をお認めいただき、ありがとうございます。

四十八年・四十九年度に引き続き、再び私が会長をお引き受け致すことになりました。責任の重大さを身に沁みて感じているのであります。

すでに申しましたように、本会の基礎固めは順調に進んでおりまして、今後はいかに発展するかの時期にさしかかって参りました。このように重要な時期の理事、監事、評議員、幹事に選ば

### 昭和50年度 三翠化学会役員

- 会長 嶋田幸英(専一)
- 副会長 若林長生(専一)
- 辻村恒(大3)
- 理事 中川潔彦(専二) 嶋田協(専3・大6) 福田映(大1) 高橋孝雄(大6)
- 今井滋(大9) 館行生(大14) 時田憲章(大21)
- 監事 渡辺和己(専一) 岡本俊郎(専二)
- 幹事代表 載本義雄(大4)
- 庶務 古市幸生(大13) 小畑仁(大15)
- 会計 田口寛(大17) 小山司郎(大20)
- 評議員 今西勝(専一) 長

了ました我々の責任は、言葉で表現できない位重大なものである。我々一同、初心に帰って頑張りたいたいと思っておりますので、よろしくごお願い致します。

私が、今更申す迄もなく本会の目的であります「会員相互の親睦向上と母校の隆昌をはかること」を充分に果たすため、本日ここで選ばれた幹事、監事、評議員、幹事の諸氏と共に出来る限りの努力を致す所存でありますので、会員諸氏のご協力を切に希望してやまない所であり、

最終的には会員相互の自覚と努力の結果によるものであります。この点どうかよろしくご認識いただき、

よう、本日の総会にご出席の諸氏は勿論のこと、八〇〇名になんとする全会員諸氏に改めてお願い申し上げます。

項目	金額(円)	備考
名簿印刷費	三九〇	〇〇〇円
会報印刷費	一〇〇	〇〇〇円
郵送通信費	三八	四〇〇円
会議費	八四	一七〇円
事務費	一〇	〇〇〇円
三重県教員支部へ補助	一〇	〇〇〇円
東京支部へ補助	一〇	〇〇〇円
「こうもり」委員会へ補助	七〇	〇〇〇円
振替手数料	一三	二五〇円
小計	七三六	六七〇円
繰越金	五七	五二二円
合計	七九四	一九二二円

項目	金額(円)	備考
名簿印刷費	一四〇	〇〇〇円
会報印刷費	七〇	〇〇〇円
郵送通信費	四〇	〇〇〇円
会議費	二二	五〇〇円
事務費	四〇	〇〇〇円
支部補助	四〇	〇〇〇円
「こうもり」委員会へ補助	三〇	〇〇〇円
振替手数料	一四	〇〇〇円
予備費	四〇	五二二円
合計	三九七	〇二二二円

### 昭和四十九年度 三翠化学会決算報告

項目	金額(円)	備考
繰越金	五〇	一三六六円
名簿代金	二九八	五〇〇円
臨時収入	七六	〇〇〇円
合計	七九四	一九二二円

収入の部

繰越金 五七、五二二円

雑収入 二八、〇〇〇円

預金利息 三、〇〇〇円

合計 三九七、〇二二円

支出の部

繰越金 五七、五二二円

雑収入 二八、〇〇〇円

預金利息 三、〇〇〇円

合計 三九七、〇二二円

### 会費納入のお願い

本会を維持し、さらに発展させるためには、皆様方のいっそうのご協力をお願いしなければなりません。諸君高騰の今日、本会の運営も予算面から大きく制約を受けております。十月十四日現在、本年度の会費は二百二十九名の会員の方々が既に納めて下さいました。これは会員総数の三割に当たりますが、本会の財源のほとんど大部分は、会費によるものでありますので、残りの七割の方々に、昨年度以前の会費の未納の諸君はどうか会費納入に御協力下さいますようお願いいたします。会費は一年間五百円です。

### 昭和五〇年度 三翠化学会予算案

項目	金額(円)	備考
名簿印刷費	三九〇	〇〇〇円
会報印刷費	一〇〇	〇〇〇円
郵送通信費	三八	四〇〇円
会議費	八四	一七〇円
事務費	一〇	〇〇〇円
三重県教員支部へ補助	一〇	〇〇〇円
東京支部へ補助	一〇	〇〇〇円
「こうもり」委員会へ補助	七〇	〇〇〇円
振替手数料	一三	二五〇円
小計	七三六	六七〇円
繰越金	五七	五二二円
合計	七九四	一九二二円

### 三翠化学会昭和四十九年度事業報告

- 昭和四十九年度総会、東京支部設立
- 昭和四十九年四月二日、幹事会
- 昭和四十九年四月十三日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月一日、昭和四十九年五月一日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月三日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月四日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月五日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月六日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月七日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月八日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月九日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十一日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十二日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十三日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十四日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十五日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十六日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十七日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十八日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月十九日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十一日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十二日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十三日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十四日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十五日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十六日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十七日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十八日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月二十九日、役員、評議員会(総会)
- 昭和四十九年五月三十日、役員、評議員会(総会)

### 深海先生のご紹介

総会後、「昆虫の性誘引物質」の講演をしていただきました京大教授深海浩先生は、昭和二十七年三月、京大農学部農芸化学科を卒業されました。ひきつづき同学部農芸化学研究室で、研究員として、現在京大農学部農芸化学研究室で、研究室管理運営面ですばらしい手腕を発揮しておられます。先生は有機化学者であり、昭和四一年には「天然フェニール化合物の合成に関する研究」で農芸化学賞を受賞されました。以後、農業研究施設で、昆虫を対象に有機化学の面より生理活性物質を中心に研究され、その成果は国内外を問わず非常に高く評価されておられます。

### 昭和五〇年度 三翠化学会役員

- 会長 嶋田幸英(専一)
- 副会長 若林長生(専一)
- 辻村恒(大3)
- 理事 中川潔彦(専二) 嶋田協(専3・大6) 福田映(大1) 高橋孝雄(大6)
- 今井滋(大9) 館行生(大14) 時田憲章(大21)
- 監事 渡辺和己(専一) 岡本俊郎(専二)
- 幹事代表 載本義雄(大4)
- 庶務 古市幸生(大13) 小畑仁(大15)
- 会計 田口寛(大17) 小山司郎(大20)
- 評議員 今西勝(専一) 長

最近、巷に話題の多い著書として有吉佐和子の『複合汚染』があります。私も朝日新聞連載中に途中から読み始め、完結後、単行本であらためて最初から読み直しました。その内容に就きましては、本会会員の皆さまは既に承知のことと思いますが、広範囲な公害の問題として相乗的な作用の可能性に就き、その専門分野の人たちから取材し、その危険性を述べた点、それなりに評価の出来る著書と考へられます。また、一般の反響も大きく、これに追随するものばかりで、新聞の投書欄には一時期、連日これに關したものが投稿さ

### 〔総説〕 複合汚染

理事 (大九回) 今 井 滋

京大・深海先生の昆虫の性誘引物質に関する講演の途中、農業の必要性に就いて触れられ、有吉さん(と)いうよりはその追随者という方が正確かも知れませんが、このように農業の全体的な否定論は、現在の農

業に於ては、専門分野から全く離れた仕事をされておられる方もあると思ひますが、複合汚染が単に農業の存在に起因するのではなく、その過程に於ては、直ちにさか……との理解は直ちにされたことと思ひます。私は本会会員の間に、今このようにな場合に限らず、何か共通したものがあつたと考へます。

地理的に総会に出席出来ない方も、本誌を通じ、もつと交通を深められるのではないかと考へて一人でありませう。

「補助金を早速お願いしなさい」と、その場で陳情した。みんなは安堵の表情にかへつた。こうして、五十年五月十日、県庁支部が晴れて結成された。

三翠化学会県庁支部会員の総数は二十名。このうち本行に勤務するもの七名、農業技術センター七名、その他出先に勤務するもの六名

### 支部結成を急ぐ 組織の輪が広がる

企画担当理事 中川 潔彦 (専二)

三翠化学会ができて三年、今までの横のつながりに加えてタテのひろがりをつくつたこの同窓のつどいは、こんどは、地域のつながりをひろめようとしている。

窓が、地域社会に、同一職場に何人かはいるはずである。しかし、同級生であつたこの同窓のつどいは、いつも横のつながりで結ばれているが、卒業年次が違つて、なかなか先輩・後輩とのタテのつながりが生まれてこない。それを一挙につなげるにつけようといふのが、職場支部であり、地域支部であるはずだ。同じ学科を卒業したという、われわれの人生にとってはかけがえない因縁をもつと大事にすべきではなからうか。

いま、支部を結成しようとしておられるのは、関西支部 中京支部 関西支部

敗戦後、台湾の研究を引き上げ、埼玉県熊谷の理研養蚕会社に在職中、四十年間大過なく職責を果した。三十五年退職されましたが、その年、四日市の東海糖業会社に顧問として、また、松阪女子短大に講師として奉職し、愉快に生活することが出来た。ところが今から数年前から身体に異状を感じ、遠くより視察が不明瞭となり、更に忘れ勝ちとなり、職務に不適当なことを痛感し、四十八年に退職し、現在、無職の空虚な生活をしております。

一方、前記の異状現象は時間と共に進行するように思われるので、三重大病院で診察を受けた所、この

中心になる人を誰にするかは、別に定めた申し合わせも何もないのである。誰でもよい、古い卒業年次の人があるという遠慮はいちばんいけなく、なぜ支部をつくるか、つくりなればならぬか、ということとなるとちよつと返答に窮する。要するに三重

の二つの地域集団である。この地域グループをまとめてよりと日夜ご努力願つていの方々をご紹介申し上げます。

専一 永井 昭三 (大永化成KK)  
松村 昌美 (松村工芸KK)  
大2 筒井 文生

「会費は当分は頂けません。支部役員はこうして決める。支部役員は最高年齢者、副支部長は卒業年次が古い者の中から選出し、世話役の幹事には、卒業年次の一番新しい者ということにした。

この支部結成大会には、前述のように本部から若林副会長と嶋田理事が、にぎにぎしく御臨席を賜わり、終始成立の経過をご監察頂いての結成だから、本部と

業に於ては、専門分野から全く離れた仕事をされておられる方もあると思ひますが、複合汚染が単に農業の存在に起因するのではなく、その過程に於ては、直ちにさか……との理解は直ちにされたことと思ひます。私は本会会員の間に、今このようにな場合に限らず、何か共通したものがあつたと考へます。

地理的に総会に出席出来ない方も、本誌を通じ、もつと交通を深められるのではないかと考へて一人でありませう。

「補助金を早速お願いしなさい」と、その場で陳情した。みんなは安堵の表情にかへつた。こうして、五十年五月十日、県庁支部が晴れて結成された。

三翠化学会県庁支部会員の総数は二十名。このうち本行に勤務するもの七名、農業技術センター七名、その他出先に勤務するもの六名

より、地元企業であり、比較的三翠化学会員の多い当社について、企業紹介欄に書くようとしたので、当社の特徴と、当社に於ける三翠化学会員の活躍に焦点を当てて報告します。なお、以下の文章に於いては、東海糖業株式会社が東海糖業と、東海コンスターチ株式会社は東海コンスと略記致します。

敗戦後、台湾の研究を引き上げ、埼玉県熊谷の理研養蚕会社に在職中、四十年間大過なく職責を果した。三十五年退職されましたが、その年、四日市の東海糖業会社に顧問として、また、松阪女子短大に講師として奉職し、愉快に生活することが出来た。ところが今から数年前から身体に異状を感じ、遠くより視察が不明瞭となり、更に忘れ勝ちとなり、職務に不適当なことを痛感し、四十八年に退職し、現在、無職の空虚な生活をしております。

一方、前記の異状現象は時間と共に進行するように思われるので、三重大病院で診察を受けた所、この

夫々異つております。一方人間の歯の配列は草食動物に類似し、また、津市の健康会(毎月一回開催)では特に野菜の栄養上重要なことが強調されております。それで以上の理由から私の食生活を草食動物の食生活に真似ることが最も妥当と考へ、米を主食とし、野菜

を従として出る。多くの種類の肉を選び、それに約10量の肉または魚肉と更に少量の海藻類と納豆を加え腹八割目に食べ、続いてパン、植物油、炭水化物、蛋白質、脂肪、ビタミン、ミネラル等の不足なものはご承知の通りであります。しかし、此等調も良く排泄作用も順調であります。

第二は運動とマッサージの問題で、先ず早起きの諺

### 支部だより 会員親睦が最大目的 県庁支部結成

「会費は当分は頂けません。支部役員はこうして決める。支部役員は最高年齢者、副支部長は卒業年次が古い者の中から選出し、世話役の幹事には、卒業年次の一番新しい者ということにした。

この支部結成大会には、前述のように本部から若林副会長と嶋田理事が、にぎにぎしく御臨席を賜わり、終始成立の経過をご監察頂いての結成だから、本部と

て、文句を言いに来ないだらう。あんまり、調子のよい会合をやつてしまつたので、その日の親睦会の決算の段階で大赤字を出してしまつた。早速、支部長さんから特別のお志を頂戴して支払いを完了したものの、この日の結成大会は、勘定足つて、ゼニ足らずのお粗末な幕切れであつた。

### 職場紹介 東海糖業株式会社

編集委員の皆様より、地元企業であり、比較的三翠化学会員の多い当社について、企業紹介欄に書くようとしたので、当社の特徴と、当社に於ける三翠化学会員の活躍に焦点を当てて報告します。なお、以下の文章に於いては、東海糖業株式会社が東海糖業と、東海コンスターチ株式会社は東海コンスと略記致します。

先づ、東海糖業は、四日市市末広町に本社及び工場があり、東海コンスは、本社が東海糖業と同じ場所、工場は津市高茶屋にありまして、東海コンスは東海糖業の完全小会社で、全く同一会社と見做して良く、今回も両者を合体した新工場建設に努力している現状であります。さて、年間売上高は両社合わせて、二百億程度であり、従業員数はほぼ四百名で、世にいう中堅企業というところでありましょう。

生産品目としては、東海コンスでは、どうもこしを原料として、コーンスターチ、グルテンミール、飼料、乾燥チャーム、CSL等を生産しており、その中